



おっぱい通信

第7号
2010.3
大阪南医療センター
西館3階
BFHプロジェクト

2009年度、私たちは赤ちゃんにやさしい病院をめざします！！

母乳育児とアレルギーのおはなし

母乳だけで育てることが、 一番のアレルギー予防になります。

母乳だけで育てるためには、生まれてすぐからおっぱいを吸わせて、赤ちゃんが欲しがるときに欲しがらだけ授乳することが大切です。母乳自体にアレルギーのある赤ちゃんはほとんどいないので、できる限り母乳だけで育てることがアレルギーの発症を少なくさせます。イギリスの研究では、17歳までのアレルギーと母乳育児の長さを調べた結果、長く母乳をのませるほど重症なアレルギーを防ぐことが明らかになっています。

日本の食物アレルギーに関するガイドラインでは、児のアレルギー発症予防として、妊娠中・授乳中の母親が食事内容を制限することは効果がないと言われています。

生まれてすぐから
おっぱいを飲んで
安心♡♡

母乳育児のための 10か条

～毎号1条ずつ掲載します～
7. 母親と赤ちゃんが一緒に
いられるように、終日、
母子同室を実施しましょう。

兄弟で楽しくおっぱいタイム



承認

自 年 月 日
至 年 月 日

大阪南医療センター

